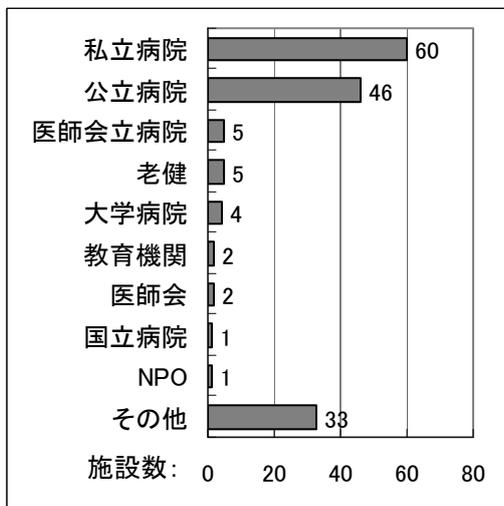


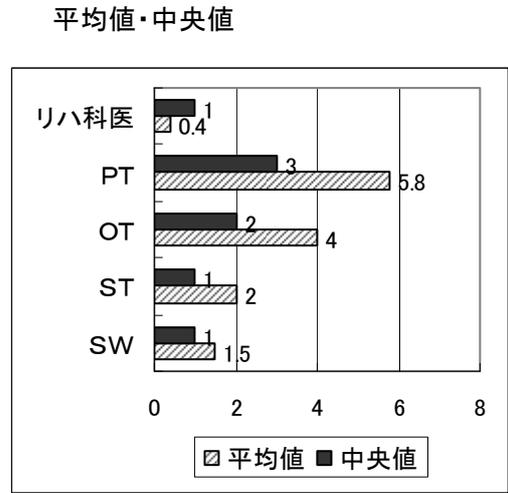
地域リハ広域支援センターに対するアンケート調査

総数 223 施設 回収数 160 施設 (有効回答率 71.7%)

(1) 広域支援センターの母体組織 (N=160)

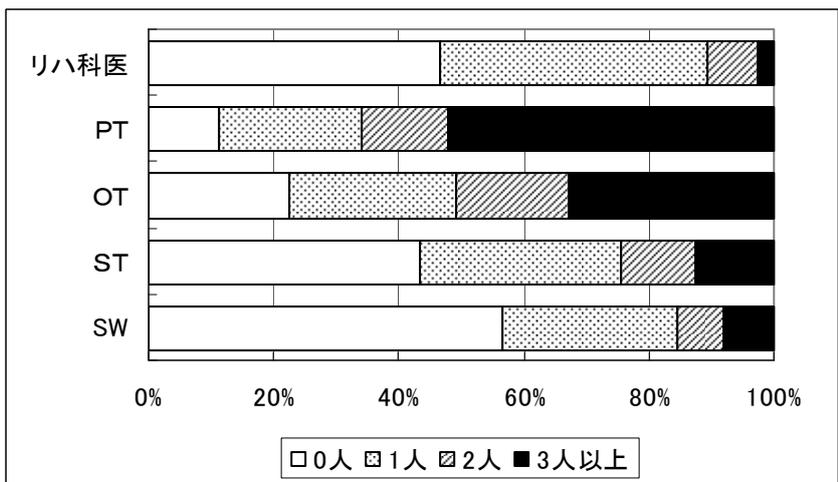


(2) 広域支援センターの業務に関わる職種



広域支援センターの業務に関わる職種

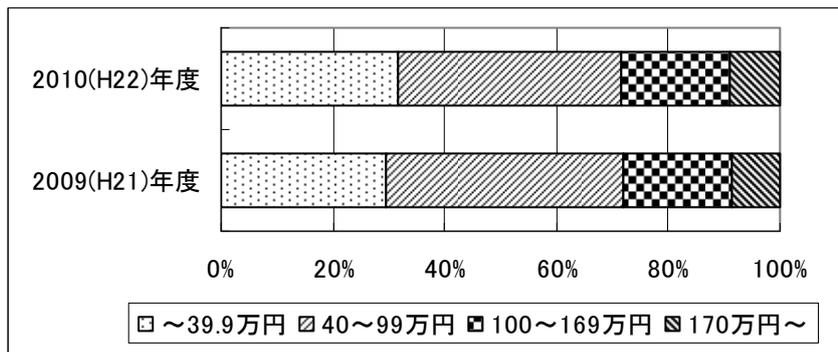
職種数の分布



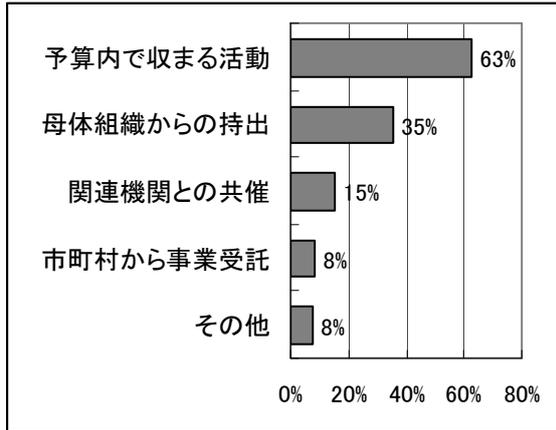
(3) 広域支援センターの年間予算

平成 21 年度：平均 80.8 万円 (中央値 70.0 万円、0~256 万円)

平成 22 年度：平均 78.4 万円 (中央値 64.5 万円、0~256 万円)



予算不足に対する広域支援センターの対応（重複回答）（N=156）

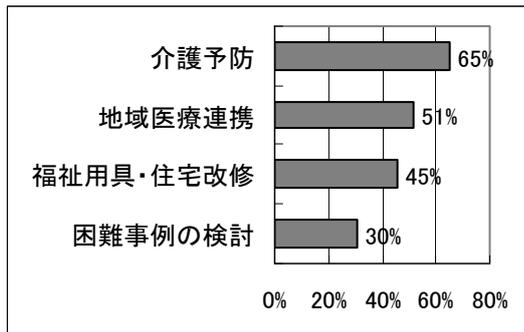


(4) 協力病院数： 76 の広域支援センターが協力病院と支援活動を実施  
平均 6.3 か所(中央値 3 か所、1～54 施設)

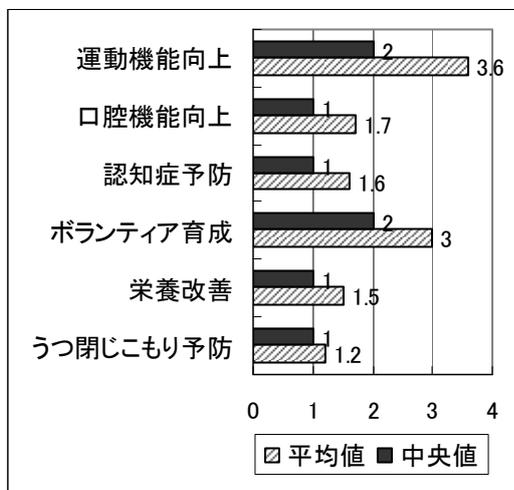
(5) 地域リハの経験年数： 平均 10.4 年(中央値 7.5 年、1～33 年)

## II 広域支援センターの活動(H21 年度)

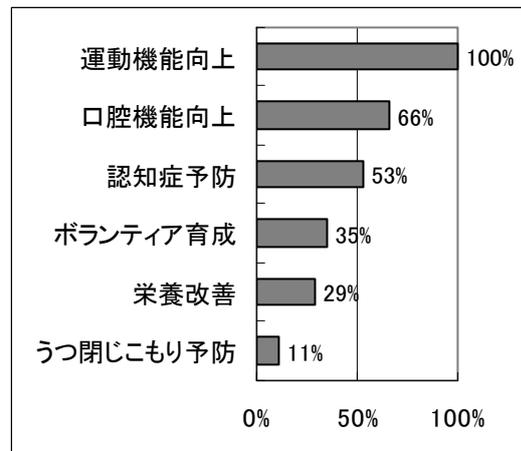
(1) 支援活動(重複回答)(N=152)



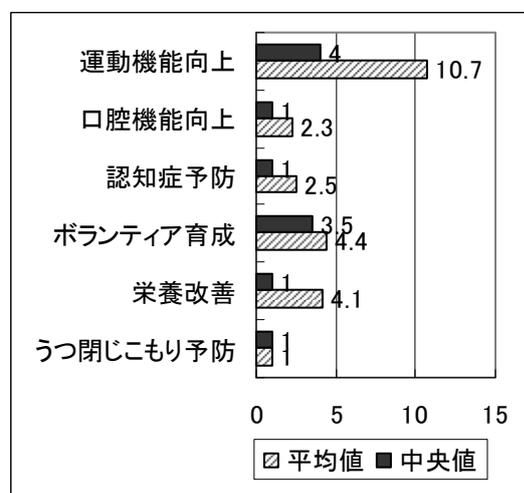
介護予防への支援(研修会、回/年)



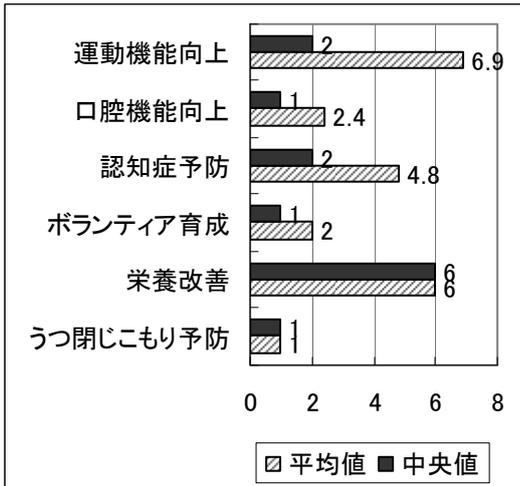
介護予防への支援(重複回答)(N=99)



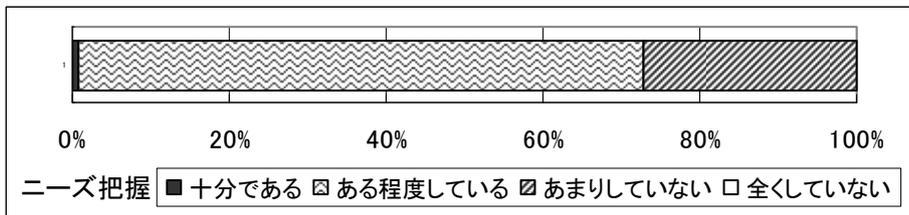
介護予防への支援(技術指導・講師派遣、回/年)



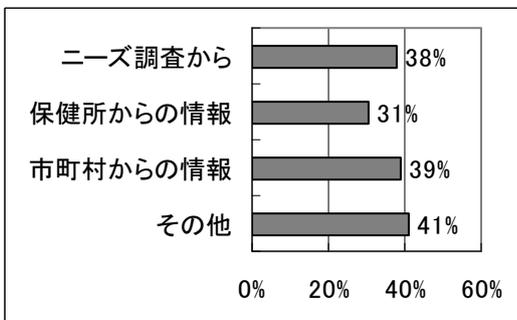
介護予防への支援(相談、回/年)



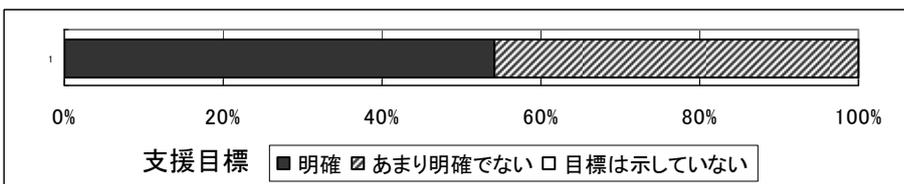
(2)-① 地域のニーズ把握(N=154)



(2)-② ニーズ把握方法(重複回答)(N=154)

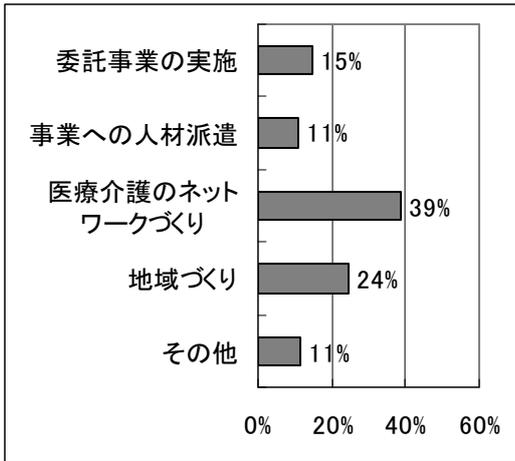


(2)-③ 支援活動の目標(N=153)



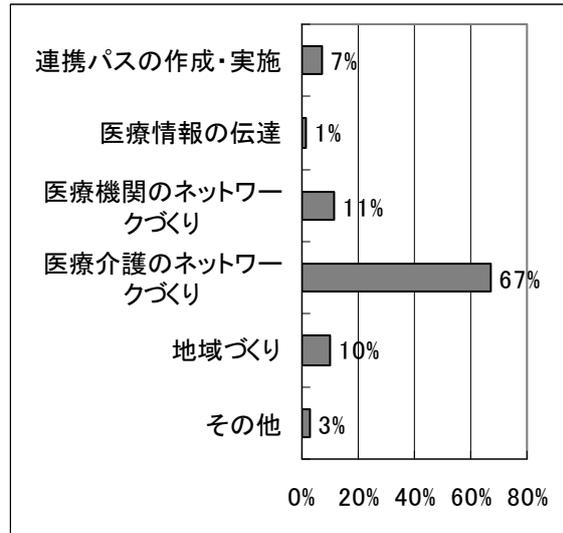
(2)-④ 介護予防事業の目標

(最重要課題を1つ選択) (N=148)

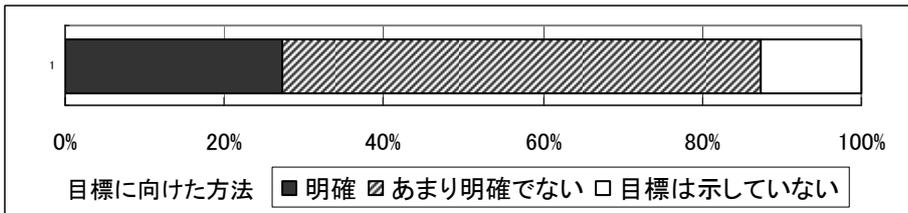


(2)-⑤ 地域医療連携の目標

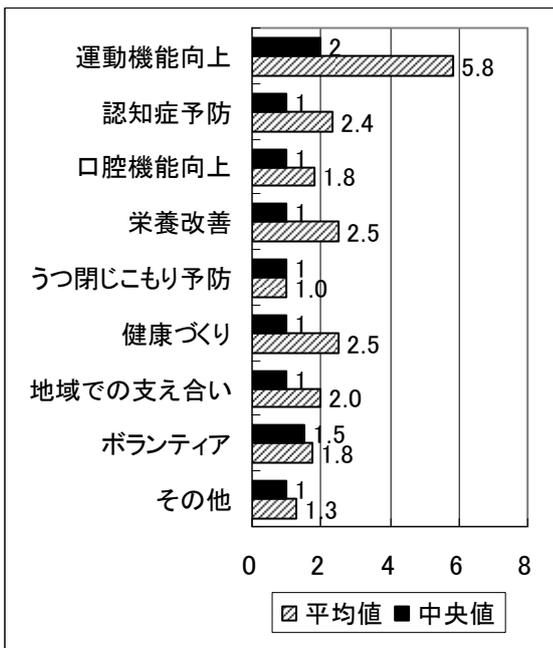
(最重要課題を1つ選択) (N=148)



(2)-⑥ 目標に向けた具体的な方法 (N=146)

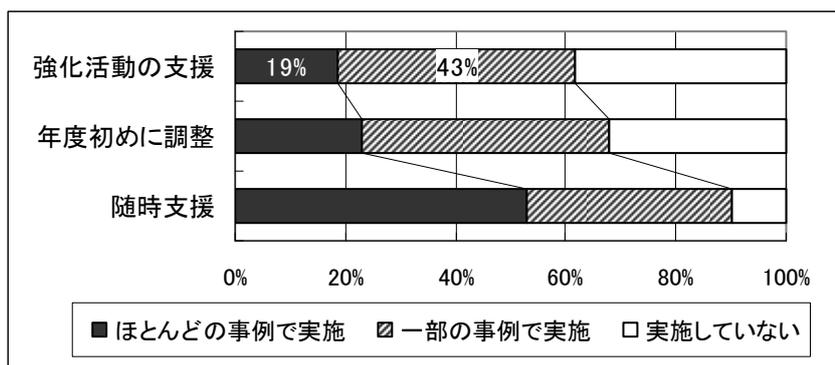


(3) 住民への教育啓発活動(講演会、回/年)

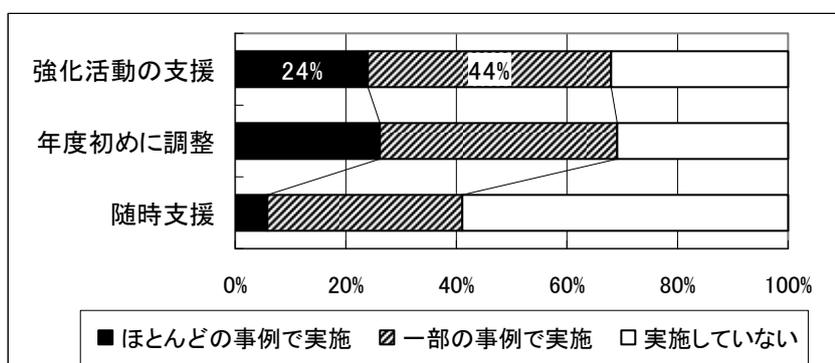


(4) 技術指導や支援の決め方

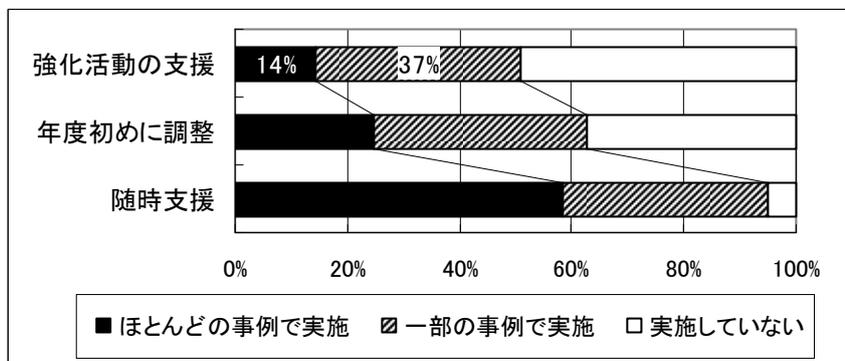
全広域支援センター(N=148)



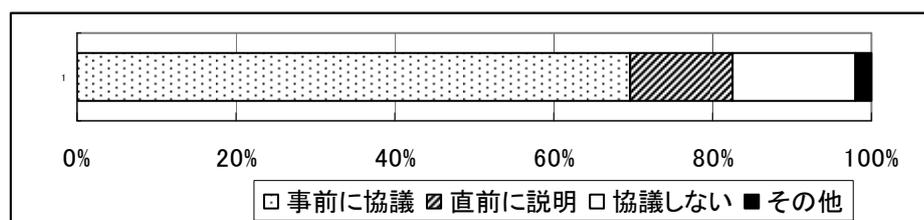
リハ科医が広域支援センターに関わった場合(N=85)



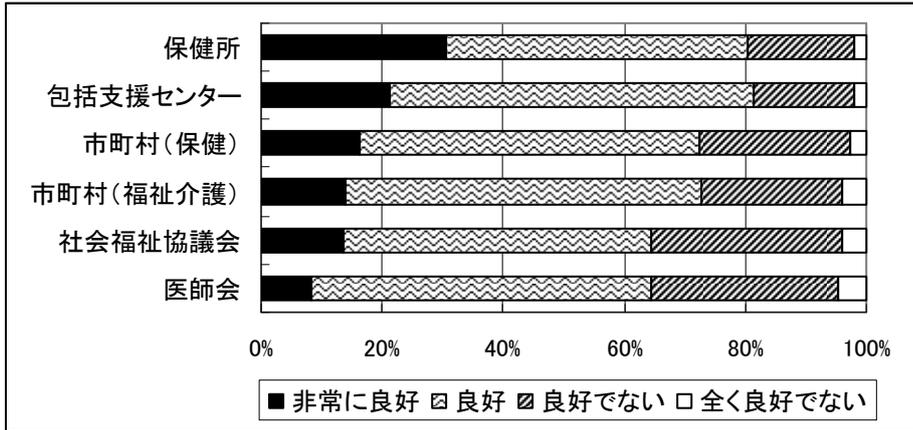
参考:2005年度調査(N=158)



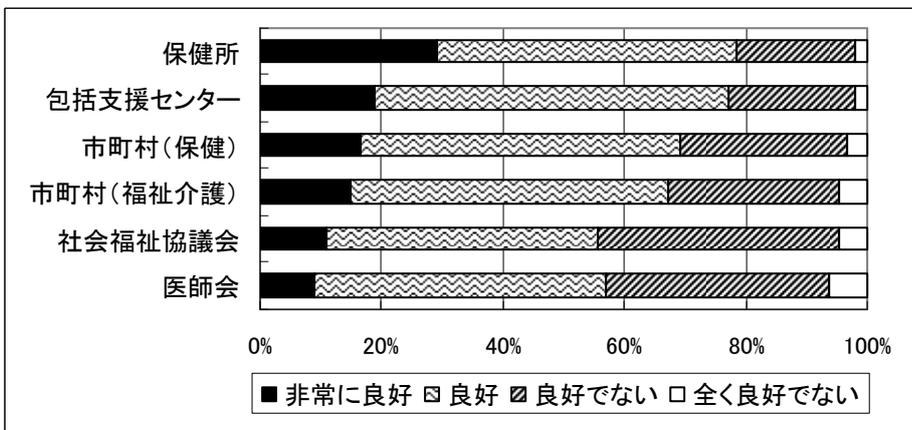
(4)-④ 現地関係者との協議(N=154)



(5) 関係組織の理解 (N=150)

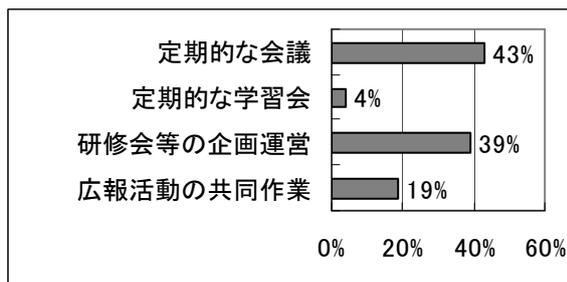


(6)-① 関係組織との連携 (N=150)

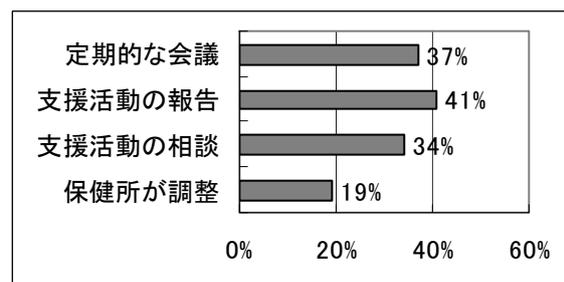


(6)-② 関係組織との連携推進の工夫 (連携が「非常に良好」「良好」の場合)

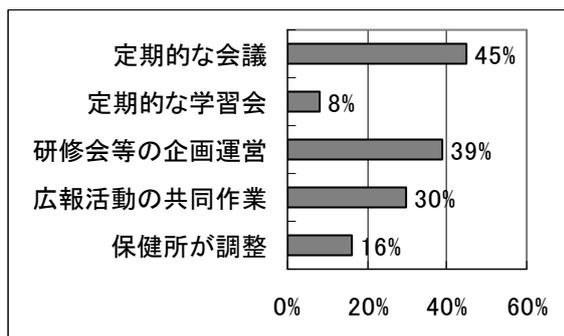
● 保健所との連携工夫 (重複回答) (N=113)



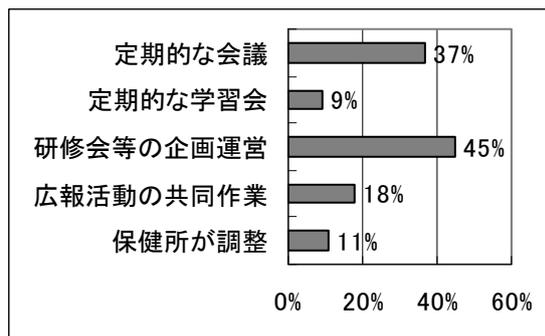
● 医師会との連携工夫 (重複回答) (N=83)



● 市町村との連携工夫 (重複回答) (N=100)

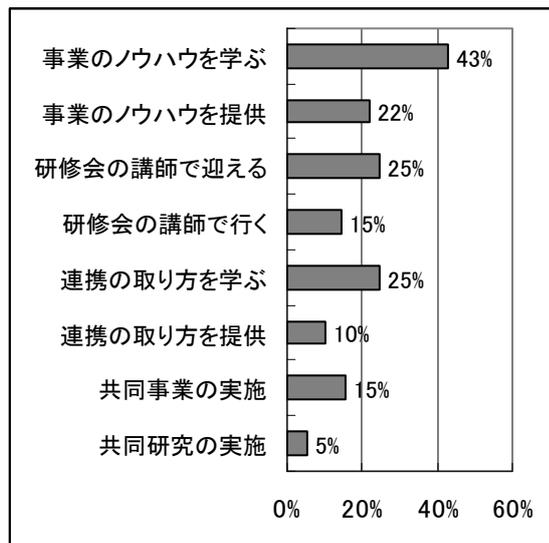


● 包括支援センターとの連携工夫 (重複回答) (N=115)

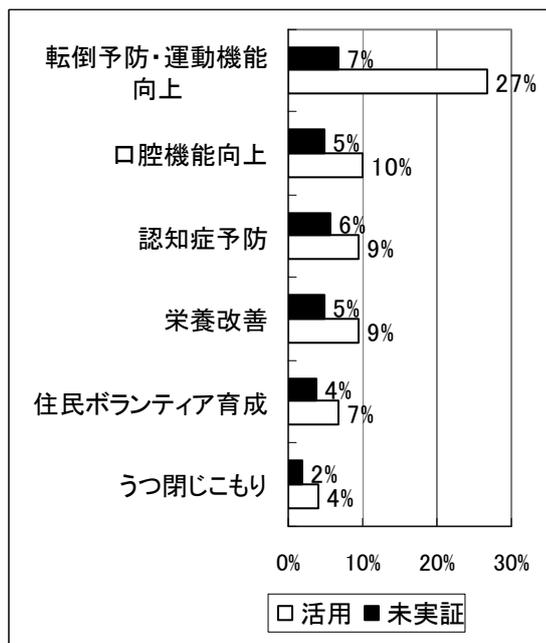


(6)-③ 他圏域の広域支援センターとの交流: 117 施設 (76.0%)

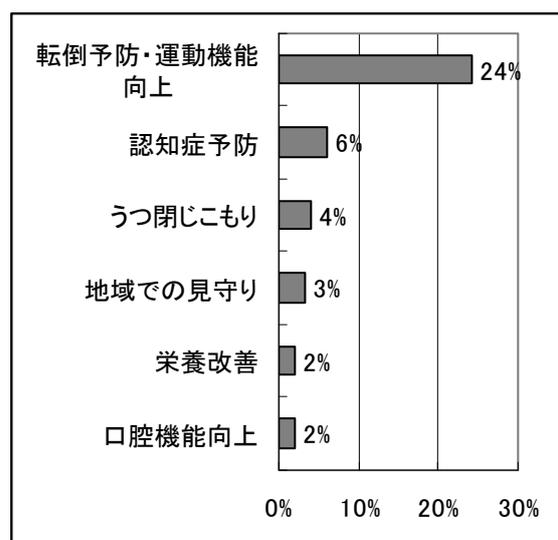
交流内容・目的 (重複回答) (N=117)



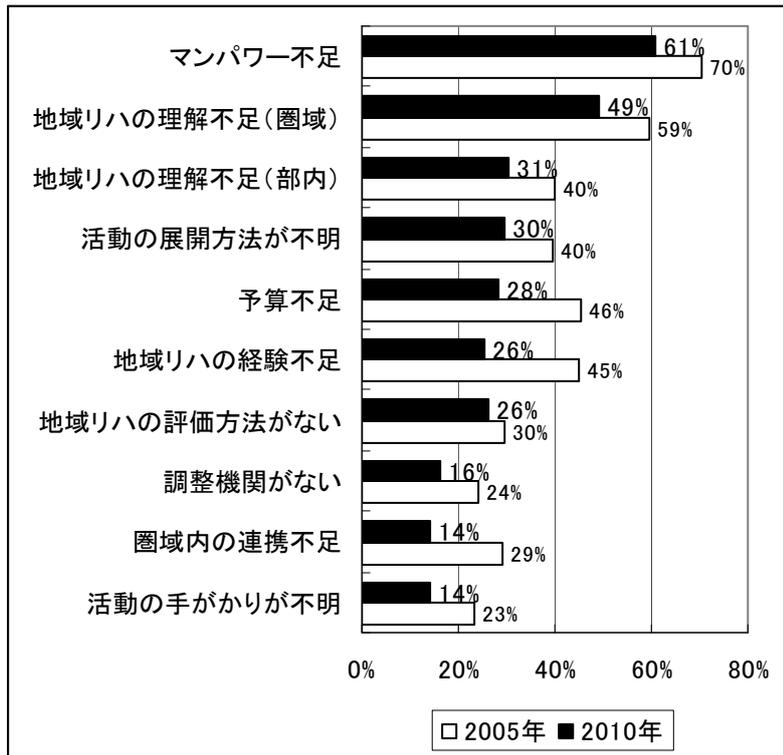
(7)-① 活動マニュアルの活用と効果の実証 (N=150)



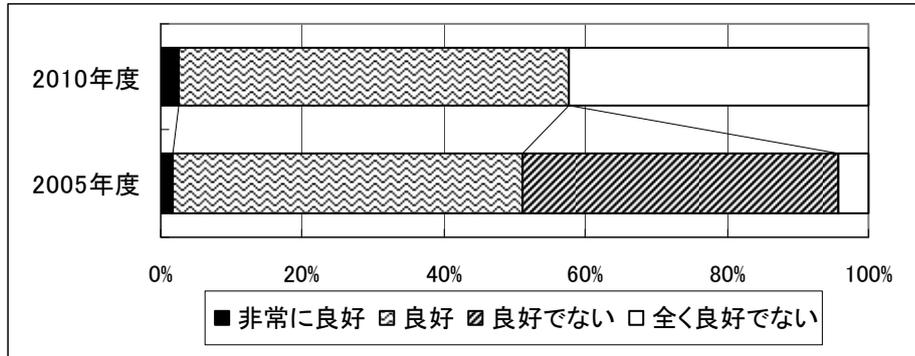
(7)-② 住民ボランティアの活用 (N=149)



(8) 支援活動を行う上での問題(重複回答)(2010年度 N=159、参考 2005年 N=190)

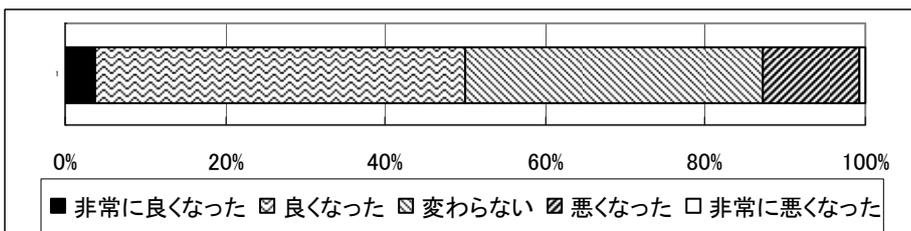


(10) 広域支援センター活動の自己評価(N=154)



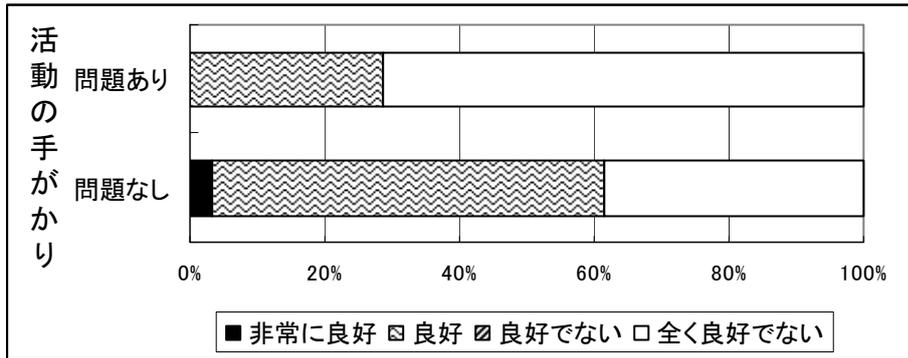
(11) H17年度との比較(広域支援センター活動の自己評価)(N=132)

「該当しない(前回調査に参加していない)」21施設、無回答7施設を除く



【クロス集計】

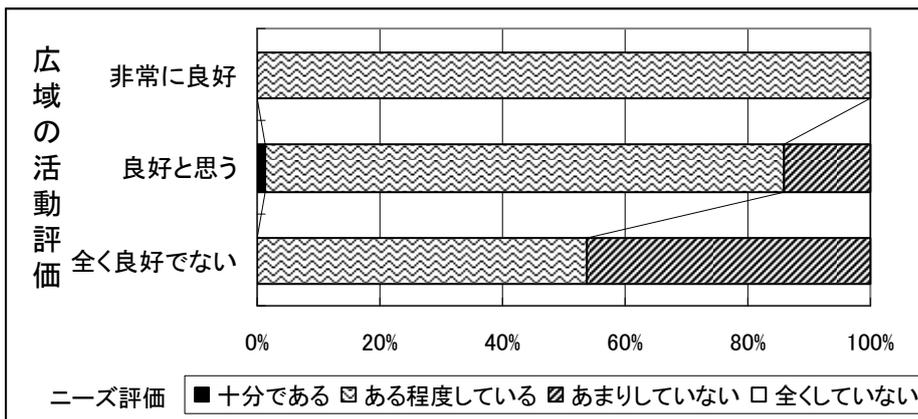
(1) 広域支援センター活動の自己評価と支援上の問題



$\chi^2=8.097, p=0.022$

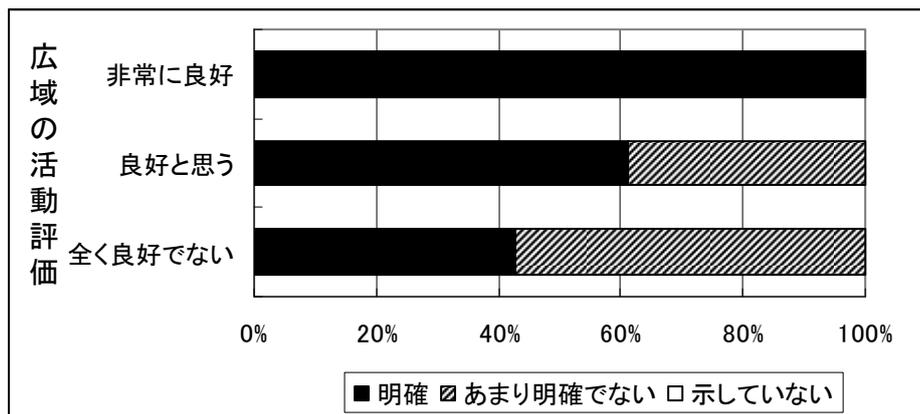
支援上の問題	$\chi^2$	p 値
マンパワー不足	7.675	0.022
予算不足	0.388	0.823
CBR経験不足	1.441	0.487
活動の手がかり不明	8.097	0.017
展開方法が不明	11.798	0.003
圏域内の連携不足	2.513	0.285
関係機関間の調整役なし	5.069	0.079
地域リハの理解不良	4.116	0.128
広域センター内の理解不良	13.576	0.001
CBR活動の評価法なし	1.49	0.475

(2) 広域支援センター活動の自己評価とニーズ評価



$\chi^2=21.104, p=0.000$   
Spearman R=0.368  
p=0.000

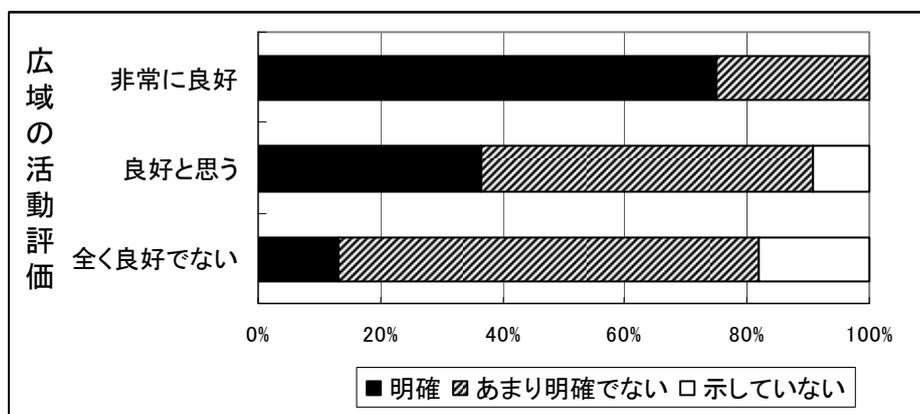
(3) 広域支援センター活動の自己評価と支援目標



$\chi^2=8.314$   $p=0.012$

Spearman R=0.218,  $p=0.008$

(4) 広域支援センター活動の自己評価と目標に向けた方法



$\chi^2=14.753$   $p=0.006$

Spearman R=0.302,  $p=0.000$

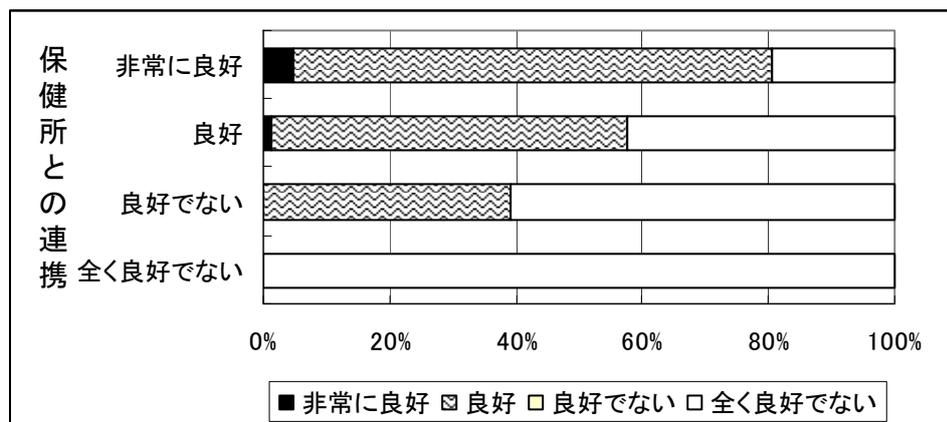
(5) 広域支援センター活動の自己評価と関与した職種数

良好:「非常に良好」と「良好」 不良:「良好でない」と「全く良好でない」

職種	活動評価	平均	SD	P値
リハ科	良好(N=89)	1.1	0.8	0.051
	不良(N=65)	0.6	0.7	
PT数	良好(N=89)	6.5	4.4	0.024
	不良(N=65)	3.7	9.3	
OT数	良好(N=89)	3.9	6.0	0.038
	不良(N=65)	2.2	3.0	
ST数	良好(N=89)	1.3	1.8	0.220
	不良(N=65)	1.0	1.3	
SW数	良好(N=89)	0.8	1.2	0.160
	不良(N=65)	0.6	0.8	

(6) 広域支援センター活動の自己評価と関係機関との連携

保健所との連携 (Spearman R=0.339, p=0.000)



	Spearman R	P値
保健所	0.339	0.000
市町村(保健)	0.299	0.000
市町村(福祉介護)	0.205	0.012
医師会	0.206	0.013
包括支援センター	0.282	0.001
社会福祉協議会	0.263	0.001

(7) 広域支援センターの活動評価(前回との比較)と関与した職種

	H17との比較	平均	SD	P値
リハ科 医数	改善(N=66)	0.6	0.6	0.402
	不変(N=49)	0.6	0.8	
	悪化(N=17)	0.9	0.9	
PT数	改善(N=66)	7.3	10.3	0.061
	不変(N=49)	4.0	5.3	
	悪化(N=17)	3.7	4.0	
OT数	改善(N=66)	4.4	6.9	0.060
	不変(N=49)	2.2	2.9	
	悪化(N=17)	2.2	2.4	
ST数	改善(N=66)	1.5	2.1	0.219
	不変(N=49)	0.9	1.3	
	悪化(N=17)	1.1	1.3	
SW数	改善(N=66)	0.8	1.2	0.593
	不変(N=49)	0.7	1.0	
	悪化(N=17)	0.5	0.7	

(8) 広域支援センターの活動評価(前回との比較)と予算額

	H17との比較	平均	SD	P値
H21 年度	改善(N=66)	96.6	66.4	0.002
	不変(N=49)	66.1	64.7	
	悪化(N=17)	31.8	21.4	
H22 年度	改善(N=66)	95.9	67.1	0.001
	不変(N=49)	62.8	62.6	
	悪化(N=17)	26.9	22.7	

平成 21 年度では「改善」と「悪化」に有意差を認めた(p=0.004)。「改善」と「不変」:(p=0.066)}

平成 21 年度では「改善」と「悪化」、「改善」と「不変」に有意差を認めた(p=0.002、p=0.040)。

(単位：万円)

Post-hoc 分析(Bonferroni)